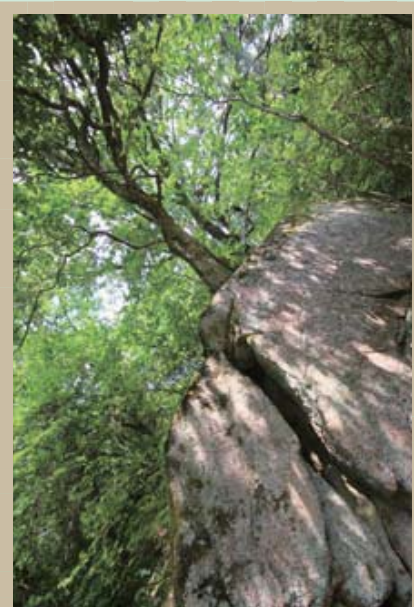
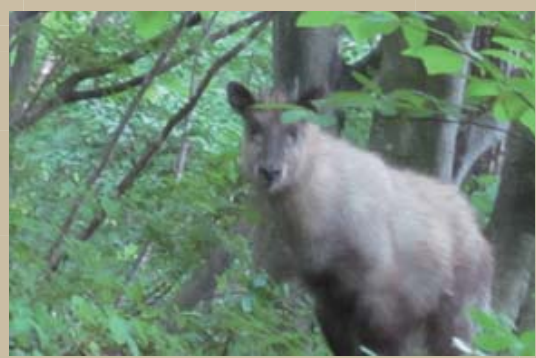




もり 森林の調査隊!! フォトコンテスト

入選作品カレンダー

2015.4-2016.3



主催：林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

後援：近畿農政局/京都府/京都市/公益財団法人森林文化協会/公益社団法人日本写真家協会/
日本風景写真協会/公益社団法人全国高等学校文化連盟正会員団体高等学校文化連盟全国写真専門部/
里地ネットワーク/公益社団法人京都モデルフォレスト協会/京都伝統文化の森推進協議会/
朝日新聞京都総局/毎日新聞京都支局/京都新聞/NHK 大阪放送局/K B S 京都

4 2015 April



【身近な森で見つけた動植物部門】

裏山のカモシカ 大井 棕介 (石川県金沢市)



(メッセージ)

「裏山登山に行こう」とお父さんが言ったので、家から近い高尾山というところに行きました。山を歩いていると、後ろから「ガサガサ」と音がしました。振り向くと、目の前に黒いものが僕たちの進む道の前に飛び出しました。

「カモシカだ!」とお父さんは言いました。突然だったのでビックリしました。カモシカを驚かさないように静かにしていました。そのときに、写真を撮りました。しばらくじっとしていると、ゆっくりと動いて、道をあけてくれました。

「ありがとう。」と僕たちは声をかけて静かに通り過ぎました。

●撮影日：H26.5.17 ●撮影場所：石川県 高尾山 ●撮影した動植物の名前：カモシカ ●カメラ機種：Canon IXY

15 水

16 木

17 金

18 土

19 日

20 月

21 火

22 水

23 木

24 金

25 土

26 日

27 月

28 火

29 水 昭和の日

30 木

H26年度 森林の調査隊フォトコンテスト 最終審査会
○開催日：平成26年11月3日(月・祝) ○開催場所：京都市東山区清水寺「経堂」



清水寺執事長の挨拶



屋外での作品展示



【森林と人との関わり部門】

森と遊ぼう 中前 照美 浦西 美津子(奈良県吉野郡吉野町)

(メッセージ)

桜の名所の吉野町は平成24年、奈良県下で初めて『森林セラピー基地』の認定を受けました。その町に住むわかば幼稚園の園児たちは、森林セラピストの阪口栄治さんのご協力を得て、『森と遊ぼう』の活動に取り組んでいます。森の中で、ハンモックや崖登りなどをして遊んだり、『龍門の滝』を目指して山道を登ったり、毎回楽しいことがいっぱい！

森の自然に負けないぐらい、園児たちの素敵な笑顔もいっぱい！

- ① 友達と一緒にハンモックに乗り、ユラユラ……。バランスを崩して転げ落ちても、みんななぜかニコニコ！
- ② 森の中を友達と思いきり走っています。落ち葉の上は、フカフカして走るのが楽しいよ！
- ③ 阪口さんに竹笛の吹き方を教えてもらいました。うまく鳴るかな？みんな興味津々。僕も、私も早く吹いてみたいなあ。

ニコニコ笑顔あふれる『森と遊ぼう』。心も体も元気いっぱい！大きくなっても、この自然とふるさと吉野を大切にする人になってほしいなあ……。

- 撮影日：H26.6.10
- 撮影場所：吉野町山口（坂口様私有地の森）
- カメラ機種：Canon EOS 5D マークII



写真①

5 2015 May



1 金

17 日

2 土

18 月

3 日 憲法記念日

19 火

4 月 みどりの日

20 水

5 火 こどもの日

21 木

6 水 振替休日

22 金

7 木

23 土

8 金

24 日

9 土

25 月

10 日

26 火

11 月

27 水

12 火

28 木

13 水

29 金

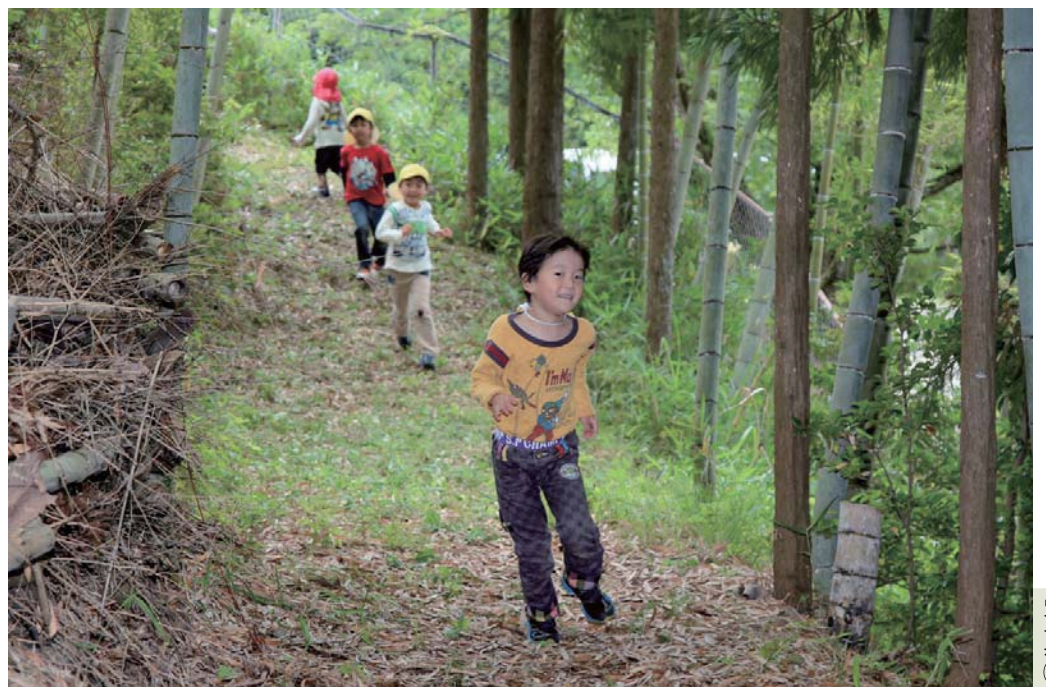
14 木

30 土

15 金

31 日

16 土



写真②



写真③



【森林と人との関わり部門】
岩立樹(がんりつじゅ)

安部 龍正
(広島県立庄原格致高等学校) (広島県庄原市)



写真①



写真②

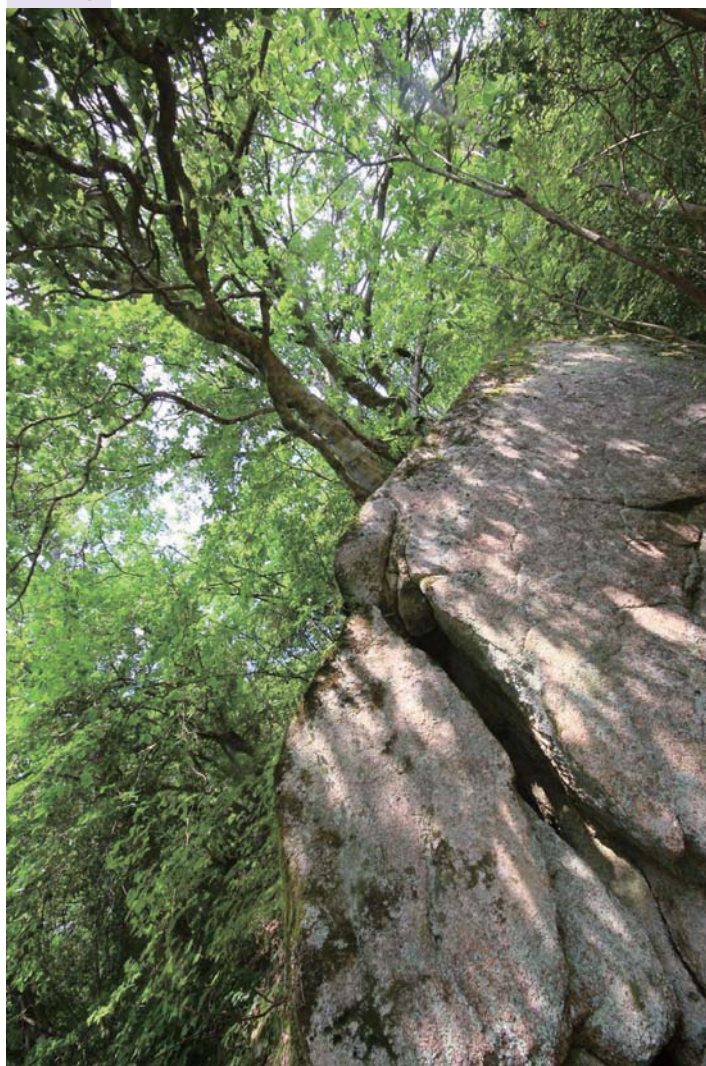
- 撮影日：H26.6.14
- 撮影場所：島根県奥出雲町 鬼の舌震
- カメラ機種：Canon EOSKiss X6i

6 2015
June



1 月	17 水
2 火	18 木
3 水	19 金
4 木	20 土
5 金	21 日
6 土	22 月
7 日	23 火
8 月	24 水
9 火	25 木
10 水	26 金
11 木	27 土
12 金	28 日
13 土	29 月
14 日	30 火
15 月	
16 火	

写真③



(メッセージ)
これらの写真は、島根県奥出雲町にある鬼の舌震という自然豊かな場所で、6月半ばに撮影したものです。その場所には、自然を感じさせる木々やコケ類などの植物や大きさ、形の異なる岩や石などがたくさん存在していました。

近年では、都市開発の影響により、木々が伐採され、自然を感じさせる森林が徐々に破壊されてきているのが現状です。そんな中、撮影地では、岩の上に聳え立つ樹木があり、太陽の光が差し込み、春らしさを象徴する緑色、風が吹き、揺れる草や葉、そして何より、岩の上に力強く根を張っており、樹木や草花の生命力を感じました。小さな植物には小さな命があり、人間と同じように植物にも命があると改めて思いました。神秘的な光景を目にしました。普段見慣れた光景の中にある木々は土の

上に生えていることがほとんどですが、今回のように岩と岩の小さな隙間から広範囲に力強く根を張っていることから、植物や樹木は、場所、環境にあった生き方をするのだと感じました。

また、コケや樹木に光が当たっている光景から、光を受けて成長し、たくさんの植物と光を分け合って共存し、人間と同様に、その環境、場所、そして、今という時を生き抜くという力強さを感じました。

7 2015 July



写真①

写真②



1 水

2 木

3 金

4 土

5 日

6 月

7 火

8 水

9 木

10 金

11 土

12 日

13 月

14 火

15 水

16 木

17 金

18 土

19 日

20 月 海の日

21 火

22 水

23 木

24 金

25 土

26 日

27 月

28 火

29 水

30 木

31 金



【森林と人との関わり部門】

健気に生きる 川口 智史 (奈良県橿原市)



写真③

●撮影日：①②H26.7.12 ③H26.5.31
●撮影場所：①弥山から八経ヶ岳 ②弥山 ③釈迦ヶ岳
●カメラ機種：Canon EOS 60D

(メッセージ) 大峯山系は古くから修験道の山として崇められ、多くの人に親しまれてきた。近年、シカの摂食被害が大きな問題となっており、とりわけ、弥山から近畿の最高峰八経ヶ岳かけてのトウヒ、シラビソの森林の存続が危ぶまれ、高山性の草花の姿を見ることが極めて少なくなっている。そうした中、健気にそして、明日に向かって生きる小さな姿に心をうたれた。

1枚目はオオヤマレンゲの花である。この花は明治28年に本草学者白井光太郎が楊子ヶ宿付近で再発見し「山中で天女に遭遇したで…」と云う言葉とともに世に出た名花である。

その後、幾度か絶滅の危機に会いながらも生き延び、近年の保護活動の成果を象徴する花でもある。見る度に、天女に会う気持ちの高ぶりを感じさせられる。

2枚目は芽生えの写真である。トウヒの稚樹であろうか、倒木を覆う苔の床に育まれ、次代への更新を期待できる姿に明日への希望を感じさせられる。

3枚目はシロヤシオで、シカに負けずに強く生きている数少ない花である。

今年は例年になく花付きの良い年であったが、なぜか、垂れ下がっていた一枝に目がいき、胸飾りに見えた花の輝きが印象的であった。



【森林と人との関わり部門】

森林と人の生活 大河内 一宏 (大阪市)



写真①



写真②

- 撮影日：H26.8.1
- 撮影場所：①中蒜山・塩釜の冷泉 ②中蒜山 ③蒜山高原
- カメラ機種：Nikon D3100

8 2015
August



箕面の動植物

ウラギンシジミ



箕面の動植物

センチコガネ

1 土

2 日

3 月

4 火

5 水

6 木

7 金

8 土

9 日

10 月

11 火

12 水

13 木

14 金

15 土

16 日

17 月

18 火

19 水

20 木

21 金

22 土

23 日

24 月

25 火

26 水

27 木

28 金

29 土

30 日

31 月



写真③

(メッセージ)

森林には、はるか昔から人の生活に関わってきました。森林には泉や小さな川もあります。人は森林の湧き水を飲み水として活用しています。この泉は昭和60年に全国名水百選認定された「塩釜の冷泉」です。東西12m、南北5mのひょうたん型の小池から毎秒300Lの湧水が、水温11度で流れ出しています。この冷泉を伝説と結びつける話もあります。(写真1枚目)

水の流れを活用して水車を使って、揚水・脱穀・製粉・製糸などに広く使用されていました。現在でも少数ながら見ることができます。写真の水車は水苔が生えており、趣のある水車になっています。(写真2枚目)

また、最近では都会での生活が増えていますが、多くの人が森林でのキャンプに行くなど、森林との関わりを求めています。蒜山高原には、人による石の彫刻が多数展示されています。それぞれの展示物は人が森林との繋がりを模索して造られたものでしょう。森林との関わり方に、人が新たな試みとして取り組んでいる姿を見ることができました。(写真3枚目)



【森林と人との関わり部門】

ちょっと大人になったよ!! 隅 聡子 (山口県岩国市)



写真①



写真②

- 撮影日：H26.9.20
- 撮影場所：国立山口徳地青少年自然の家
- カメラ機種：Canon EOS kiss x6i

9 2015
September



箕面の動植物

きのこ青空



箕面の動植物

イタチ

1 火	16 水
2 水	17 木
3 木	18 金
4 金	19 土
5 土	20 日
6 日	21 月 敬老の日
7 月	22 火 国民の休日
8 火	23 水 秋分の日
9 水	24 木
10 木	25 金
11 金	26 土
12 土	27 日
13 日	28 月
14 月	29 火
15 火	30 水



写真③

(メッセージ)

林業女子会@山口で行ったツリークライミングの様子を撮影した写真です。国立山口徳地青少年自然の家にある大きなクヌギの木が舞台です。大人9人、子供5人の合計14名でツリークライミングを体験しました。

最初にクヌギの木の下でツリークライミングの歴史やルール、遊んでもらうクヌギの木の説明を講師から聞いて、いざ挑戦!!最初は恥ずかしいのか「やりたくない」といって他の遊びをしていた子供たちでしたが、大人が楽しんでいる様子を見て「僕もやりたい!」と積極的に参加するようになりました。お母さんや講師に手伝ってもらって少しずつ登っていましたが、いつの間にか自分の力で輪っかに足を通して高いところを目指そうとしていました。

不安定な体勢で一生懸命登ろうとする姿に思わずシャッターを押しました。子供が成長している瞬間を取れたように思います。木の上から見るいつもと違った景色、木と一体になったような感覚は大人の私も大変感動しました。

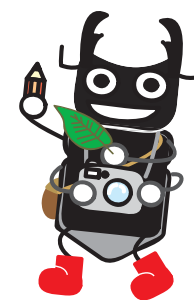
森は大人に童心を思い出させてくれる場所であり、子供を成長させる場でもあると感じました。



「森林の調査隊!!フォトコンテスト」開催場所



秋の清水寺（清水の舞台）



10 2015
October



1 木

2 金

3 土

4 日

5 月

6 火

7 水

8 木

9 金

10 土

11 日

12 月 体育の日

13 火

14 水

15 木

16 金

17 土

18 日

19 月

20 火

21 水

22 木

23 金

24 土

25 日

26 月

27 火

28 水

29 木

30 金

31 土



最終審査会場 清水寺（経堂）



【森林と人との関わり部門】

貴重な里山『待兼山』の緑を守る 青野 倫太郎 (大阪府立園芸高等学校) (大阪府池田市)

(メッセージ)

私が所属するビオトープ部は待兼山のクヌギ、コナラ、アベマキを枯らすカシノナガキクイムシ（以後カシナガと呼ぶ）の防除に取り組んでいます。

待兼山は本校の最寄り駅である阪急石橋駅徒歩15分に位置する都市部に残存するたいへん貴重な里山です。

この里山に数年前よりナラ枯れが発生し、ここを管理されている大阪大学によって枯死木が伐採されています。私たちビオトープ部はできるだけ環境に優しい方法でカシナガを防除する研究を行っています。この作品を通じて私たちの待兼山を守っていききたいという意気込みを感じていただければ幸いです。

写真1 まだ紅葉が始まっていないにもかかわらず、紅葉（枯れ葉）が見られるようになりました。待兼山ではコナラに多く発生しています。クヌギ、アベマキの被害は少ないことがわかりました。

写真2 カシナガの防除では、粘着シートが用いられていますが、カシナガ以外の昆虫等が捕獲される問題も指摘されています。

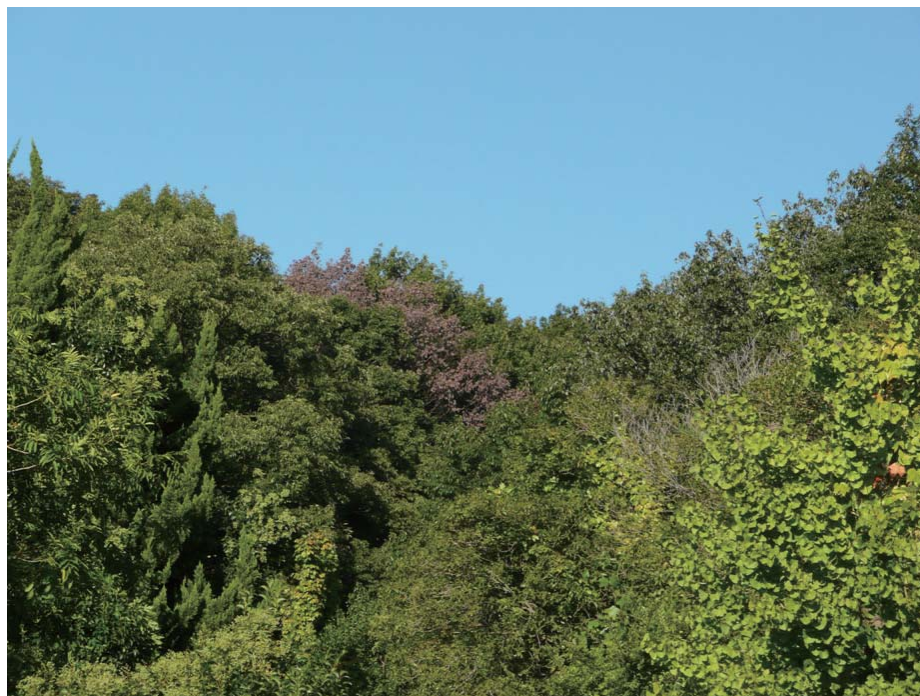
私たちは安価でしかもだれでも設置できる布製ガムテープを粘着面を内向きに巻く方法で多くのカシナガを捕獲しています。

写真3 私たちは箕面昆虫館の協力を得て、粘着シートで捕獲された昆虫類の同定作業を行い、カシナガなど昆虫類の捕獲状況を明らかにしました。

●撮影日：① H24.10.3 ② H25.6.5 ③ H25.8.22

●撮影場所：①②待兼山 ③箕面昆虫館

●カメラ機種：Panasonic DMC-TZ3



写真①

11 2015 November



箕面の動植物

サワガニ



箕面の動植物

紅葉

1 日

17 火

2 月

18 水

3 火 文化の日

19 木

4 水

20 金

5 木

21 土

6 金

22 日

7 土

23 月 勤労感謝の日

8 日

24 火

9 月

25 水

10 火

26 木

11 水

27 金

12 木

28 土

13 金

29 日

14 土

30 月

15 日

16 月



写真②



写真③



1 火

2 水

3 木

4 金

5 土

6 日

7 月

8 火

9 水

10 木

11 金

12 土

13 日

14 月

15 火

16 水

17 木

18 金

19 土

20 日

21 月

22 火

23 水 天皇誕生日

24 木

25 金

26 土

27 日

28 月

29 火

30 水

31 木



写真①

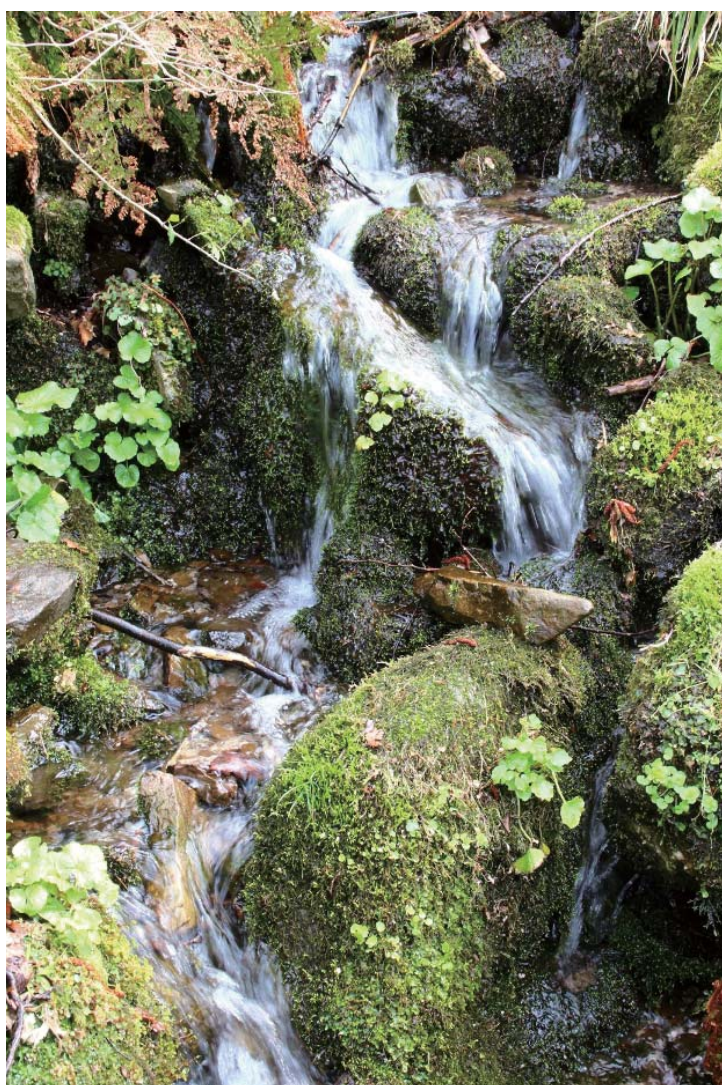
(メッセージ)

これらの写真は春間近の中国山地の山で撮ったものです。

まず一枚目ですが、注目すべきは木の周りだけ雪が解けていることです。これは「根開き（ねびらき）」と呼ばれる現象だそうです。雪は白っぽいので太陽光を反射してしまい周りの温度も暖まりにくく晴れていてもなかなか解けないのですが、その反射された光を木が吸収し周りの雪がとけるのだとか。これだけでなく光合成を行うので温度が高くなる、落ち葉の中で微生物が活動しているなどの要因もあるようです。

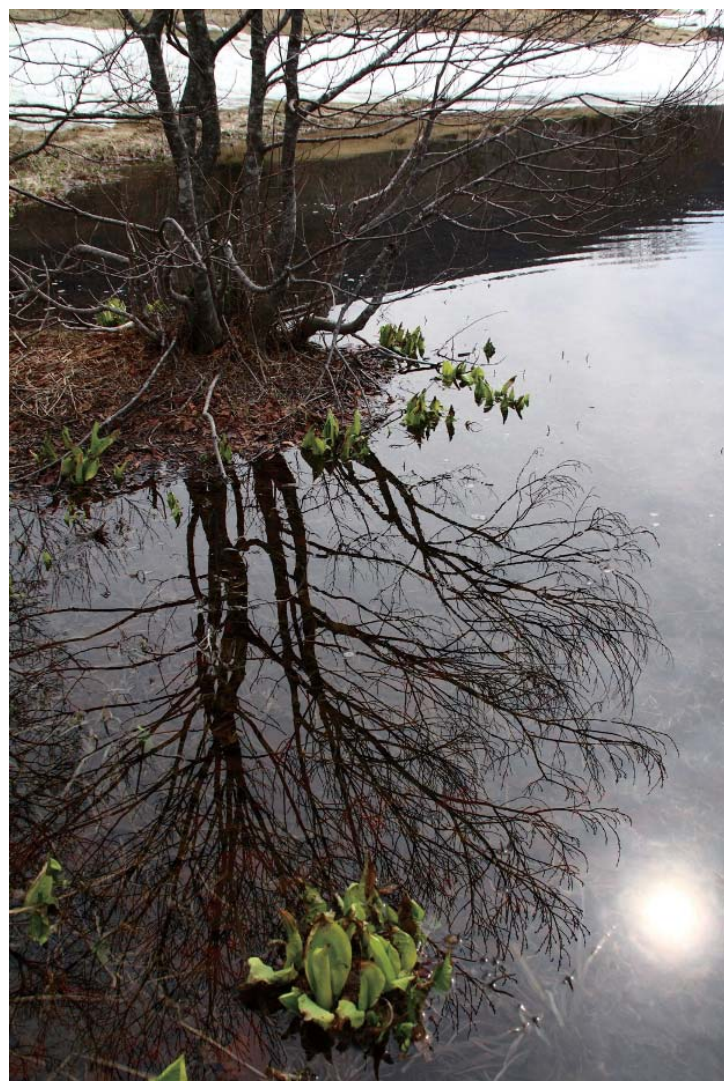
次に二枚目で、解けた雪は水となって流れていきます。自然を撮る時はコントラストを上げて撮ると自然の美しさが際立つように思います。またこの写真は少しシャッター速度を落として水の流れる様子を表現しました。春の近いこの時期にしか見られない雪解け水には、他の水とは次元の違う清らかさ、躍動感や美しい趣が感じられます。また周りからは新たな緑が萌え始めています。

最後に三枚目です。とくとくと音をたて流れ解けた水は池にたどり着いていました。まだこの時はうらかかというには程遠く春は浅くそこにはしっかりと冬が居座っています。水面に映る空は冬の静けさがあり彩もまだ寂しげです。奥には残雪も見られます。しかし暗い水の底には何か得体の知れない力が潜んでいるように感じました。春はすぐそこにまでやって来ていました。



写真②

●撮影日：H26.4.12
●撮影場所：吾妻山
●カメラ機種：Canon EOS KissX6i



写真③

1 2016
January



【身近な森で見つけた動植物部門】
ぼくのすきなセマルハコガメ

武田 草太 (沖縄県石垣市)

1 金 元旦

2 土

3 日

4 月

5 火

6 水

7 木

8 金

9 土

10 日

11 月 成人の日

12 火

13 水

14 木



(メッセージ) ぼくは石垣島の、野底に住んでいます。そこには自然が多く海や山もあります。
そこで写真を撮るために野底マーペーという山の登山道に行き、歩いて行くとセマルハコガメが二匹いました。セマルハコガメは天然記念物に指定されています。どうやって見つけたかという、家にいるメス犬のルルという犬がみつけてくれました。
そしてセマルハコガメは、すぐ殻の中に引っ込んでしまい、出てくるのには時間がすごくかかりました。そして辛抱強く待つとやっと中からセマルハコガメが顔を出しました。
そして写真を撮ってしばらくすると手足が出てきて、走るような速さで川の近くの森に入っていってしまいました。こんなに速いんだなと思いました。

●撮影日：H26.9.23 ●撮影場所：沖縄県石垣市 野底マーペー山のふもと ●撮影した動植物の名前：セマルハコガメ
●カメラ機種：Nikon COOLPIX L14

15 金

16 土

17 日

18 月

19 火

20 水

21 木

22 金

23 土

24 日

25 月

26 火

27 水

28 木

29 金

30 土

31 日



【身近な森で見つけた動植物部門】
森を見つめる小さな瞳 小倉 玲 (京都市)



(メッセージ) 私は、カエルなどの小さな生き物が大好きです。でも同年代の人たちは小さな生き物を見ると決まって「気持ち悪い」と言います。私はそうは思いません。なぜなら小さな生き物も私と同じ一つの命だからです。
私は月に一度、山に登って、植林やきのこ、野鳥の観察をする集まりに参加しています。この写真は9月28日の活動の時に見つけた1cmほどのタゴガエルの子どもです。
地球温暖化、大気汚染、外来種による森の日々の変化に私は気づくことができません。
しかし、このタゴカエルのような森の住人たちは環境の変化に気づいているのだと思います。森の住人たちは、毎日その森を眺めながらどのようなことを感じているのだろうか。写真を見た人に想像してもらうため、タイトルを“森を見つめる小さな瞳”にしました。
それから、この森を守っていきたいと願う私の思いも込めました。

●撮影日：H26.9.28 ●撮影場所：大文字山 ●撮影した動植物の名前：タゴガエル ●カメラ機種：Canon IXY



平成26年度環境教育研修（森林環境教育セミナー：箕面国有林）



京都教育大学 山下宏文 教授



大阪府箕面公園昆虫館 久留飛 克明 館長

2016
February



●森林環境教育セミナー

現代社会では、普段の生活の中で森林とかかわったり木材の利用などについて体験し、学んだりする機会が少なくなってきました。

このことから、森林の中での様々な体験活動などを通じて森林・林業等についての理解と関心を深める森林環境教育の機会を、こどもたちをはじめ国民に広く提供することが重要になっています。

このような中、森林管理局・署等の職員が直接学校等に赴き、森林環境教育の支援を行うだけでは限界があるため、自ら森林環境教育を実施できる者を増やしていくことが必要となっています。

このため、学校教育における森林環境教育の導入を促進することなどを目的として、当センターの働きかけにより箕面市教育委員会と連携し、教員の環境教育研修を活用した森林環境教育セミナーを実施しています。

1 月	17 水
2 火	18 木
3 水	19 金
4 木	20 土
5 金	21 日
6 土	22 月
7 日	23 火
8 月	24 水
9 火	25 木
10 水	26 金
11 木 建国記念日	27 土
12 金	28 日
13 土	29 月
14 日	
15 月	
16 火	



●箕面大滝



「オオクワガタの棲める森づくり体験イベント」のようす

3 2016
March



●「オオクワガタの棲(す)める森づくり」

「箕面体験学習の森」整備事業の内の一つとして行っている取組です。当センターでは、当該地域の国有林をこども達を対象とした森林環境教育のフィールドとして一層充実させる等の観点から、「箕面体験学習の森」の中心にある展望台周辺において、かつての森を再生することを目指して、ヒノキ、スギ林からクヌギ、コナラなどの落葉広葉樹林への転換を図ることとしています。この取組は住民参加型とし、ボランティアの協力により、苗木の育成→植栽→下刈等の一貫した取組を継続して行うこととしています。「オオクワガタの棲(す)める森づくり」では、箕面市内の小学校及び幼稚園の児童・園児、箕面市など多くの市民の方にも協力していただいています。

1 火

2 水

3 木

4 金

5 土

6 日

7 月

8 火

9 水

10 木

11 金

12 土

13 日

14 月

15 火

16 水

17 木

18 金

19 土

20 日 春分の日

21 月 振替休日

22 火

23 水

24 木

25 金

26 土

27 日

28 月

29 火

30 水

31 木



水源の森ジオラマづくり完成品

●水源の森ジオラマ作り

このジオラマづくりは、子どものみならず大人でも楽しめると好評です。工作を始める前に、パネルなどで「水源かん養保安林」「水源の森」「水循環」など、森が水を守っていることについて理解を深めてもらい、森林をイメージしながら工作するように工夫をして実施しています。このジオラマづくりは、木工クラフトを作って楽しかったで終わるのではなく、作る楽しさと学ぶことのきっかけとして、森林環境教育に役立てていただけます。※ジオラマの作り方は最後のページに掲載しています。